

平成18年度施政方針……………	2
仙北市議会議員一般選挙……………	6
秋田内陸線再生に向けて……………	15
児童手当制度が拡充……………	16
「仙北市総合計画」を策定します…	18

仙北市立にこにこ保育園が完成！



昨年8月から工事を進めていた仙北市立にこにこ保育園（西木町門屋字六本杉2-1）の園舎が完成し、3月27日、竣工式が行われました。

にこにこ保育園は、木造平屋建てで延床面積1,143.32平方メートル、定員90人、総事業費は、337,519千円となっています。

～「仙北市」として本格的なスタートの年～

各地区の特色を活かし、新市の一体感の醸成と市民の融和を！

仙北市長 石黒直次

政策の基本方針

◇総合計画の策定

新しい総合計画を、9月を目途に策定し、今後の進むべき方向を総合的かつ具体的に提示します。

計画の策定には、市議会との協議、地域審議会や各種団体の皆さまの意見を伺うとともに、地域アンケートの実施などにより広く市民の声を反映させたものにしたと考え、市民の視点に立ったわかりやすい計画づくりを目指します。

◇特色を活かした市政の推進

豊富な観光資源、歴史的な文化遺産、恵まれた自然景観等、それぞれの地域の特色を活かしたまちづくりを進めるとともに、他産業との有機的な連携をはかり、相乗効果が期待される方策を進めます。

◇市民の参加と協働のまちづくり

地方分権社会の進展の中、これからの自治体運営は、行政主導から住民参加、NPOや民間団体との協力など、市民参加と協働の取り組みが欠かせません。

仙北市の発展には、あらゆる分野で市民の力を取り入れることが必要であり、そうした仕組みを検討し、行政の役割を明確にし、併せて市の課題を共有するための情報提供に努めます。

◇行政改革の推進

現在、庁内に行政改革プロジェクトチームを発足させ、現行の組織・機構、事務・事業の問題点や経常経費の節減対策について検討しています。新年度において、プロジェクトチームの提言を活かしつつ、真に合併効果が発揮できる体制を目指します。

新年度の重点事業と予算案の概要

平成18年度一般会計予算の歳入歳出総額は、183億8,800万円で、旧田沢湖町・旧西木村の当初予算と旧角館町の6月定例議会後の現計予算の合計額と比較し、総額で17億4,270万3千円の増額となっています。

歳出については、経常経費の徹底した削減を行い、継続の事務事業を優先しました。主な事業として国体会場施設整備事業費、抱返り溪谷歩道危険箇所防除事業負担金、地方道路臨時交付金事業費、角館統合小学校建設事業費等です。

新規事業については、秋田わか杉国体スキー競技会・カヌーリハーサル大会の開催経費、汚泥再生処理センターの基本計画・最終発注仕様書作成業務等です。

各部等の事業の概要

【総務部関係】

○総合計画の策定

基本方針でも述べたとおり、9月を目途に策定します。計画期間を平成18年度から27年度までの10年間とし、基本的には、合併協議により策定された「新市建設計画」の基本理念を継承しつつ、より発展的、具体的なまちづくりの指針として策定します。

○秋田内陸線

「秋田内陸線再生支援協議会」において、存続に向けた再生計画の策定作業を進め、平成22年度を目標に、乗車人員を約82万6,600人に設定し、経常損失額を他の交通機関に代えても必要とされる1億5,000万円以内に圧縮するという目標達成のため、関係機関との連携をはかり、乗車促進運動を展開していきます。

○市民バス

角館地区、田沢湖地区で運行している市民バスについて、利用料金が両地区で違っていることから、同じ利用料金となるようすり合わせを行ったところであり、なお一層の利用促進を図ります。

○ホームページの充実と 市民への電子メディアの普及活動

新市のホームページは、「観光情報」「市民情報」「行政情報」の3つを主要コンテンツとして、その質と量の充実に努めます。電子メディアの普及活動は、「パソコン教室」を実施してきましたが、これまで以上に広い普及活動を推進していきます。



○国体事務局



平成19年「秋田わか杉国体」第62回国民体育大会の本市での開催種目である冬季大会スキー大会アルペン競技、カヌー、軟式野球、馬術、デュアスロン競技開催に向け準備を進めています。



冬季大会スキー大会アルペン競技については、平成19年2月10日から13日までの4日間開催され、開会式は選手・監督・役員他大会関係者等を含め約4,000人の参集の中、皇族をお迎えし執り行われます。



【市民福祉部関係】

○交通安全



交通安全計画を策定し、高齢者や子どもなど交通弱者の事故防止、飲酒運転の撲滅を最重点に掲げ、各関係機関と緊密な連携をはかり交通安全啓発活動に努めます。



○防犯対策

近年、全国的に凶悪犯罪が発生しており、極めて憂慮すべき事態にあります。防犯関係団体等による巡回を更に強化し、犯罪の未然防止に努めるとともに、防犯灯設置については地域団体への必要な助成を行いながら、犯罪のない明るい環境整備に努めます。

○環境保全センター

し尿処理施設の老朽化に伴い「汚泥再生処理センター」の建設を平成19、20年度の2年継続事業として計画し、これに向け平成18年度は、施設整備基本計画の策定及び発注仕様書作成業務委託を予定しています。

○消防・防災

常に住民の防火意識の啓発並びに消防団員の教育訓練に努め、住民の生命、財産を火災から守るために体制の充実強化を図ります。

新市の防災計画策定を急ぎ、危機管理体制、初動体制の確立をはかり、情報収集や通信伝達体制の整備など災害応急体制に努めます。

○保健事業

各種検診や健康教育、健康相談を実施するとともに、介護予防事業等の連携により生活機能低下の早期把握、早期対応の取り組みを推進します。なお、平成18年度は口腔検診や肺ガン検診、骨粗しょう症検診を全市に拡大して実施します。



○児童福祉

4月から開設の「にこにこ保育園」を加え9保育園で、それぞれの園の経緯を尊重し、保育料の統一などをはかりながら就学前の子どもたちをよりよい環境で保育するよう努めます。

○高齢者福祉

本市の高齢化率は、平成18年2月現在30.6%と前年同期より0.7%上回り、要介護認定者は、前年同期より94人多い1,776人となっています。

平成18年度においても、関係機関が連携協力し高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう介護予防などの支援事業の実施に努めます。



○障害者福祉

障害者自立支援法が4月1日から施行されることから、利用者への制度の周知、各種相談に応じるとともに障害者の方々へ総合的に支援できるように努めます。

【産業観光部関係】

○流通対策



「食」への安全性に対する関心が高まっていることから、生産者に対しトレーサビリティシステム（生産履歴記帳・提供）の徹底を呼びかけ、安全・安心な農産物等の生産を確立し、農産物の差別化・付加価値化をはかり、農家の市場競争力の強化と所得の拡大、生産意欲の一層の向上に努めます。

体験交流については、農村環境のみならず、人とのふれあいを通して自然を感じることでできる農業体験（グリーンツーリズム）は好評を得ており、今後は、参加者ニーズに対応する新しい施策（スローツーリズム）についても検討していきます。

○農業関係



平成18年度産米は、県から配分された本市の目標数量が18,976トンで、「売れる米作り」の取り組みが評価され昨年より260トン増加しました。今後も「こだわり米」の生産振興等、売れる米作りに取り組んでいきます。

政府において「経営所得安定対策等大綱」が決定し、平成19年度からは品目横断的な経営安定対策が導入されることになりました。このため県では「将来に生き残る強い仙北農業」を目指した様々な施策を講じていくことになり、当市もこれらと連携を密にしながら、農業振興をはかります。特に、集落営農の取り組みはさけて通れない問題で、法人化を目指す組織の機能強化など、集落型経営体の育成に取り組んでいきます。

○畜産関係

黒毛和牛について、仙北市の3つの和牛改良組合が平成18年度中に1本化する方向で調整をはかっており、生産履歴の公開とともに、さらなる肉用牛生産体制を整えるため、大覚野牧場の草地整備改良等の事業を継続し、転作関連の耕畜連携事業と併せて低コスト生産を推進していきます。



○林業関係

全県に広がりを見せる松食い虫の被害は衰えを知らず、平成15年度から県の事業により被害防止に努めてきましたが、平成18年度も、伐倒駆除(100㎡)、薬剤樹幹注入(1,200本)を実施します。

○農村整備関係

「ほ場整備事業」は黒倉、真崎地区が平成17年度で完了し、白岩第一地区は平成18年度換地業務で完了年度となります。また、手倉相内端地区は昨年度の事業認可に続き2年目に入ります。

角館地区の「土地改良維持管理適正化事業」は最終年度で、ため池改修工事2カ所を予定。「西明寺地区中山間地域整備事業」も最終年度で、水路1本、農道3本の工事を予定しています。「松木内地区中山間地域整備事業」は、水路6本、農道1本の工事を予定。田沢湖地区で実施している間伐材を活用した水路整備事業「アグリフォレスト支援事業」は2年継続の完了年度で水路2本を予定しています。

○観光振興

自然や歴史、郷土芸能などを活用した誘客促進とともに、地域の食材や地場産品を活用した特産品の開発、体

験型観光の推進など仙北市としての特性を活かすことのできる観光商品づくりと滞在型観光の推進に努めます。

他の観光地とのネットワークを形成し周遊型観光の推進、年々増える外国人観光客の受け入れ態勢の整備により広域観光、国際観光の推進を進めます。



○雇用対策

ハローワーク大曲、角館管内における平成18年3月高校卒業者の就職内定率は、平成18年2月現在で97.9%となっています。

平成18年度は、高校生をはじめ、大学卒業予定者やUターン希望者など、市内への就職を希望する方々に対する就労支援に努めます。



○商工業の振興

市内企業・事業所の育成強化と経営の安定化に向け、仙北市中小企業振興資金融資制度等の効果的な活用を促すとともに、従業員の技術習得や資格取得など人材育成について積極的に支援を行います。

【建設部関係】

○道路整備



市道整備については、地域からの要望を踏まえ、危険度等の緊急性や地域全体での必要性を考慮し、計画的に整備を進めます。

国庫補助事業の地方道路整備臨時交付金事業として中央線道路改良工事、栃の木六本杉線道路改良工事、館下橋橋梁改築工事を実施します。また、豪雪対策、過疎対策、辺地対策及び臨時地方道路整備事業で市道改良工事を予定しています。

○都市計画街路事業

都市計画街路岩瀬北野線整備は順調に推移し、平成14年度から18年度までの計画の最終年度にあたり、事業の完成を目指し、地域住民と一体となって取り組みます。



○まちづくり交付金事業

角館地区中心市街地の活性化を目指すまちづくり交付金事業については、平成18年度は駅東地区の用地確保、中心市街地地区の照明灯工事、舗装工事等を予定しています。

○市営住宅建設事業

公営賃借住宅の需要に対応すべく「公園南1号団地」の建設に着手します。木造平屋建て6棟を建設する計画で、平成18年度は住宅実施設計、敷地整備等を実施し、平成19年度の完成を目指します。

○田沢湖駅前広場整備関連事業



平成12年度から進めている「田沢湖駅前広場関連事業」については、道路改良、駐車場整備等の市事業は平成17年度で完成し、県事業の駅前宮ノ前線と駅前広場も平成18年12月で完成予定です。

○下水道事業

平成17年度に引き続き、田沢湖石神地区、角館北野、小館、神菅沢地区を整備します。

○集落排水事業

田沢湖田沢地区では、平成17年度に測量調査、全体実施計画も完成し、平成18年度は一部工事に着手する予定です。平成17年度から21年度までの5年間で、総事業費11億3,000万円、管渠9,400m、ポンプ施設14カ所、処理場1カ所を整備するものです。

○合併処理浄化槽事業

平成18年度は、角館地区、西木地区で「浄化槽市町村整備推進事業」として70基整備する予定です。また、「浄化槽設置整備事業」では田沢湖地区、角館地区で7基を予定しています。

【企業局関係】

○水道事業

田沢湖地区で、導水管の付設替工事延長251m、角館地区は、4路線で石綿セメント管更新工事延長1,290m、配水管新設工事延長525m、西木地区では、西明寺地区基幹改良事業と下桜木内地区統合整備事業で延長570mの配水管工事を予定しています。



○温泉事業



湯の量は低下傾向にありますが、平成18年度においても健全経営と湯量確保対策をし、湯量の安定供給に努めます。

【教育委員会関係】

日本各地で小学校児童の痛ましい事件がありました。市教育委員会としては、教育機関、警察、防犯協会、保護者等が連携して登下校時の安全確保を目的に緊急集会を開催するなどの具体的取り組みをしています。今後も積極的に地域ぐるみで子どもを守り育てる取り組みを推進していきます。



○学校施設の整備



角館統合小学校の建設に、2カ年継続事業として取り組みます。また、判定委員会の結果を踏まえ神代小学校の校舎対策にも取り組んでいきます。

○学校教育

平成18年度の新入学児童、生徒の予定人数は、小学校242人、中学校255人です。

学校教育の充実を図るため、新しい時代の担い手である子どもたち一人ひとりに「たしかな学力」を育むため、総合的な学力向上対策に取り組めます。



○生涯学習

全市として広域的な取り組みをいかに展開するかが課題です。そのため、各地域で行われてきた各種学習・講座のノウハウを共有し、既存の学習形態を再検討するとともに、生涯学習課と各地区公民館の連携を密にし、より多くの市民が参加できる運営に努めます。

○文化財保護

仙北市には、数多くの優れた文化財があり、この貴重な文化遺産を、歴史と伝統を踏まえ、後世に引き継いでいくことが仙北市全体の発展にとって重要なことであり、関係各位との連携を深め、保護、保存及び管理に努めていきます。





仙北市議会議員一般選挙

4月9日(日)に告示、**4月16日(日)**に投開票の予定です。

これからの市政を託す24人の代表を決める大切な選挙です。忘れずに投票しましょう。

大事な一票、忘れずに!



◇選挙権の要件（下記の条件をすべて満たし、選挙人名簿に登録されている方）

- 〈住所〉 平成18年1月8日以前から仙北市に引き続き住んでいて、住民基本台帳に登録されている方
- 〈年齢〉 昭和61年4月17日以前に生まれた方（就学等により、市外に居住している学生の方は投票できません）

◇投・開票予定日 4月16日（日）

- 投票 市内43投票所において、午前7時から午後7時まで
- 開票 角館広域交流センターにおいて、午後8時30分から

◇期日前・不在者投票について

期日前・不在者投票のできる期間 4月10日から4月15日まで

※投票日当日に仕事などのために投票所に行くことのできない方は期日前・不在者投票をご利用ください。なお、入場券がお手もとに届いている場合には、入場券裏面の「期日前（不在者）投票宣誓書兼請求書」に予め所要事項を記入の上、投票時にご持参ください。

①期日前投票所で行う場合は、次のいずれかの期日前投票所へお越しください。

(投票受付時間はいずれも午前8時30分～午後8時まで)

田沢湖地域	仙北市役所田沢湖庁舎
角館地域	仙北市役所角館庁舎
西木地域	仙北市西木総合開発センター

※お住まいの地域に関係なく、いずれの期日前投票所でも投票できます。

②出稼ぎ等により滞在先で不在者投票を行う場合は、お早めに請求してください。

(4月3日から仙北市役所田沢湖庁舎・角館庁舎・西木庁舎の各窓口で請求書を準備します)

③不在者投票のできる病院・施設等に入院・入所されている場合は、病院等の担当者にお尋ねください。

④郵便による不在者投票のできる方(郵便投票証明書をお持ちの方)は、4月12日までに請求してください。

◇入場券は、4月10日に発送の予定です。

◇選挙区別の投票所一覧表

田 沢 湖 地 域		角 館 地 域		西 木 地 域	
投票区名	投票所名	投票区名	投票所名	投票区名	投票所名
上田沢	打野会館	北	角館樺細工伝承館	戸沢	戸沢部落集会所
下田沢	前通会館	中央	角館保健センター	上桧木内	紙風船館
先達	先達会館	南	市立角館総合病院	栗掛	三共集落会館
石神	石神会館	東	角館広域交流センター	中里	中里児童館
武蔵野	武蔵野会館	西	角館中学校	桧木内	桧木内小学校体育館
宿	男坂町内会館	黒森	川崎文化振興会館	西根	久保生活改善センター
向生保内	手倉野相内端会館	高屋	高屋住民会館	潟野	潟野十二峠部落会館
刺巻	刺巻地区会館	川原	中川集落センター	西明寺	堂村部落会館
潟	潟文化センター	雲然	雲沢集落センター	小山田	堀之内部落会館
小松	羽根ヶ台会館	八割	八割コミュニティセンター	門屋・上荒井	西木公民館
東前郷	東前郷生活総合センター	下延	下延コミュニティセンター	小淵野	山崎部落会館
岡崎	岡崎生活総合センター	高森	高森部落会館	西荒井	西荒井部落会館
神代	田沢湖福祉医療センター	中泊	西長野小学校		
梅沢	森腰構造改善センター	白岩	白岩小学校		
卒田	卒田会館	藺田	下花園集会所		
		広久内	内沢林業会館広久内会館		

※投票所の変更について

西投票区：角館西小学校→角館中学校 桧木内投票区：桧木内地区公民館→桧木内小学校体育館

◆そのほか分からない点などありましたら、仙北市選挙管理委員会までお気軽にお問い合わせください。

TEL 0187(43)1150

「仙北市誕生」をテーマにした雪像や楽しさがいっぱい 田沢湖高原雪まつり

2月24日から26日までの3日間、たざわ湖スキー場特設会場で田沢湖高原雪まつりが開催されました。

期間中は「仙北市誕生」をテーマに、田沢湖のたつこ姫と龍や角館町の武家屋敷、お祭りの山車、西木町上桧木内の紙風船上げの雪像に加えて美術大学の学生さんが制作した雪像や、テレビ番組と一緒に雪像を作って以来交流している、新潟県十日町市の雪像職人のみなさんが制作した雪像「ファミリー」などが勢揃いし、点灯式が行われると赤や青にライトアップされました。

25日夜には、田沢湖龍神太鼓や角館火振りかまくら、中仙ドンパン踊り、西木紙風船上げなど、きたうら地区に伝わる郷土芸能のほか、グレンデでは幻想的なたいまつ滑走や迫力のある火の輪くぐりが披露されました。また、最後には、花火が打ち上げられ、会場を盛り上げました。



冬の夜空を彩った花火



田沢湖龍神太鼓



中仙ドンパン踊り



角館火振りかまくら



西木紙風船上げ

仙北市交通死亡事故ゼロ 365日達成!!

3月10日をもって、「仙北市交通死亡事故ゼロ365日」を達成し、3月15日、仙北市役所角館庁舎で仙北警察署池端勝光署長より顕彰が伝達されました。

これもひとえに、交通安全推進機関・団体、市民一体となった交通安全運動を展開されているからこそ、達成できたことと思います。

これを365日にとどまらず、500日、1000日と継続していけるよう、官民一体となった交通安全運動を推進していかなければと改めて実感しました。また、みなさんも交通安全を心がけましょう。



左から、仙北警察署交通課高橋篤課長、仙北警察署池端勝光署長、石黒直次市長、仙北地区交通安全協会千葉源一郎会長、仙北市交通指導隊佐藤義直隊長、角館町老人クラブ連合会藤原剛会長、角館町交通安全母の会連合会菅原祐子会長

東北電力の「明るい街づくり運動」で 仙北市に街灯15基が寄贈される



石黒市長に目録を手渡す竹沢氏（中央）と新田氏（右）

このほど、東北電力株式会社大曲営業所より仙北市へ街灯15基が寄贈されました。

東北電力では、「明るい街づくり運動」の一環として、毎年県内各市町村に街灯を寄贈しており、平成17年度は仙北市角館地区に15基が設置されたもので、3月3日に東北電力大曲営業所長の竹沢吉雄氏と、施工していただいたユアテック角館営業所長の新田寛徳氏が仙北市役所角館庁舎を訪れ、石黒市長に目録を手渡しました。

石黒市長は「街灯を設置していただいたことで、市民が安心、安全に暮らせる街づくりに一歩近づくことができました」とお礼を述べていました。

紙風船西木ふるさと会に 多くの会員が集いました

2月19日、東京「上野精養軒」を会場に第17回紙風船西木ふるさと会（熊谷久会長）総会と懇親会が開催されました。

当日は会員120人に加え、石黒直次市長、佐藤峯夫議会議長はじめ、関係者多数が参加しました。また、町村合併後初の総会には、友誼団体の東京かくのだて会、東京田沢湖会からも応援参加があり、合併効果がこんなところにも及びました。

石黒市長のふるさとを襲った記録的な積雪による雪との格闘の話に、会員は幼かった自分の冬の暮らしを思いおこしているかのような様子でした。続いて、西木町出身の直木賞作家、西木正明さんのユーモアあるお話に、会場の緊張感は一気に和らぎました。

お酒が入り、秋田弁が飛び交う懇親会会場では、ふるさと民謡に感動した昔の秋田おばこたちが、舞台上で踊りだす場面もあり会場は大いに盛り上がりました。

会員は、折からの寒さを吹き飛ばす楽しいひとときを過ごした後、「来年の2月18日もここであおな」と再会を約束し、家路につきました。

今回の総会では、西明寺地区出身者による「西明寺カタクリ会」が新たに発足。毎年春には会員の心にカタクリのような可憐な花が咲くことでしょう。



各審議会の委員が 決まりました

仙北市文化財保護審議会委員15人が次のとおり決まりました。任期は平成21年12月26日までです。（敬称略）

- | | |
|------------------|-----|
| 1. 古 郡 藏之助（田沢湖） | |
| 2. 伊 藤 金 一（田沢湖） | |
| 3. 坂 本 善 治（田沢湖） | 副会長 |
| 4. 千 葉 惣 永（田沢湖） | |
| 5. 柴 田 正 蔵（角館町） | 会長 |
| 6. 藤 原 芳 夫（角館町） | |
| 7. 仙 葉 政 利（角館町） | |
| 8. 佐々木 佐 年（角館町） | |
| 9. 能 美 忠 堯（角館町） | |
| 10. 渡 邊 すなお（角館町） | |
| 11. 塩 野 米 松（角館町） | |
| 12. 山 田 芳（西木町） | |
| 13. 沼 田 欣治郎（西木町） | |
| 14. 新 山 修 生（西木町） | |
| 15. 齋 藤 悟（西木町） | |

仙北市角館伝統的建造物群保存地区保存審議会委員8人が次のとおり決まりました。任期は平成19年12月26日までです。（敬称略）

- | | |
|----------------|--------|
| 1. 鈴 木 幸太郎（地域） | 会長 |
| 2. 稲 葉 通 誠（地域） | 副会長 |
| 3. 澤 田 享（学識） | |
| 4. 高 橋 雄 七（学識） | |
| 5. 戸 澤 嗣 郎（学識） | |
| 6. 鈴 木 弘（学識） | |
| 7. 西 宮 陽 助（学識） | |
| 8. 高 橋 庄 孝（行政） | 角館消防署長 |

仙北市体育指導委員1人が欠員となっていました。次のとおり決まりました。任期は平成20年2月19日までです。（敬称略）

体育指導委員 八 柳 一 郎（田沢湖）

仙北市交通指導隊長に 佐藤義直氏が就任されました!!



2月1日付けで佐藤義直氏が、仙北市交通指導隊長に就任されました。

佐藤氏は、昭和50年4月から旧角館町交通指導隊隊員としてご尽力され、同副隊長、仙北市交通指導隊班長を歴任され、この度隊長に任命されました。

また、交通指導隊員のほか、民生児童委員など、多方面にわたってご活躍されております。今後ますますご活躍されることを期待されます。

全国の精鋭田沢湖に集い 2006全日本マスターズスキーたざわ湖大会

3月2日から4日まで、アルペン競技がたざわ湖スキー場、クロスカントリースキー競技が田沢湖スポーツセンター陸上競技場を会場に、2006全日本マスターズスキーたざわ湖大会が開催され、32都道府県から562人のエントリーがありました。

このマスターズスキー大会は、全日本スキー連盟に登録してスキー競技に携わり、普及に努めてこられた35歳以上のみなさんが、競い合う唯一の全国大会で、田沢湖では2005年大会に続き2回目の開催です。

2日の夕方には、市民会館を会場に開会式が行われ、秋田アルペンスキークラブの伊多波祐男選手が「高齢化社会を生き生きとして、練習の成果を発揮し最後まで滑り走り抜く」と選手宣誓し、翌3・4日にはそれぞれの競技で、熱戦が繰り広げられました。



選手宣誓をする伊多波祐男選手

名人、名物の味・技をどうぞ 田沢湖の物産即売会「山の楽市」

地元特産の手作りの味と工芸品を即売する『山の楽市』が、3月18・19日の両日、タカヤナギ田沢湖プラザ特設会場で開催されました。

この山の楽市は観光宣伝を兼ねて、特産品を売り込もうと、神奈川県横浜市で平成7年から旧田沢湖町が開催している物産展で、地元のみなさんにも特産品や工芸品の良さを知ってもらおうと、田沢湖物産協会が主催しました。

期間中は、物産協会に加盟する8団体が出店し、漬物やお菓子、工芸品などがずらりと並びました。開店直後から、お目当ての品を買い求める住民や、おみやげとして買い求める観光客の姿も見られ、品切れになる商品が続出するほどの盛況ぶりでした。



お目当ての品を買い求めるお客さんで賑わっています

花葉館入湯者120万人達成 大仙市の鈴木さん

平成8年4月にオープンした第3セクターの角館温泉「花葉館」の入湯者が2月18日、120万人に達しました。

記念の120万人目となった大仙市豊川の鈴木吉和さん（24歳・会社員）は、毎月1回ほど花葉館を訪れ温泉を楽しんでいるということです。

この日はちょうど土曜日とあって、花葉館を訪れたたくさんの人たちに見守られ、石黒市長らとともにくす玉を割った鈴木さんには、花葉館の高橋義男社長から花束と記念品の「花葉館ペア宿泊券」が贈られました。



記念のくす玉を割る鈴木さん（左）

大石ウメノさん 99歳(白寿)おめでとうございます

2月28日、田沢湖梅沢字東田の大石ウメノさんが満99歳の白寿を迎えられ、石黒市長と市関係者が長寿のお祝いに駆けつけました。

石黒市長がお祝い金と花束を手渡すと、ウメノさんはしっかりと口調でお礼を述べるなどとても元気でした。

健康の秘訣を訪ねると「食事は家族と同じものを食べるが、決してたくさん食べることはない。肉や魚よりも山菜やキノコ、野菜が好き」ということでした。また、2、3年前までは一人で山へ行き山菜やキノコを採っていたそうです。いつまでも元気で、長生きしてください。



とても元気なウメノさん、石黒市長と一緒に記念写真

ひな祭りにお茶を楽しむ だしのこ園でお茶会

3月3日のひな祭りに、玉川遠州流の畠山社中の方々が、子どもたちにお茶を楽しんでもらいたいと、だしのこ園を訪れ、お茶会を開催しました。



子どもたちはお行儀よく正座し、玉川遠州流の千葉生子さんに作法を習いながら、お茶菓子とお茶をいただきました。お茶をもらうときには全員が丁寧におじぎをして、とても立派でした。子どもたちに感想を聞くと、みんな「おいしかった」と、元気に答えていました。



保健推進員・結核予防婦人会研修会 講演『あきらめないで尿失禁』

保健推進員及び結核予防婦人会研修会が、3月1日、就業改善センターで行われ、保健推進員など約60人が参加しました。

研修会では、平成18年度健診対象者調べの配布と回収の説明やお願いがあり、引き続き、西明寺診療所の市川晋一所長から『あきらめないで尿失禁』という演題で、スクリーンを使って講演が行われました。

講演では、「尿もれは誰にでも起こることだが、予防も治療もできるので前向きに生活して欲しい。どんな名医でも、診ないことには、どうにもならないので早めに診察を受けて欲しい」など、市川所長がこれまで経験し勉強してきた内容の楽しい講演で、参加者も笑顔で聞き入っていました。



仙北市健康市民のつどいⅡ ～国民健康保険保健事業～

3月3日、「仙北市健康市民のつどいⅡ」健康づくり講演会が角館樺細工伝承館を会場に開催され約100人が参加しました。

AKT秋田テレビのニュースキャスターとして活躍された塩田耕一氏を講師に迎え、「民謡こぼれ話とことばの大切さ」と題した講演で、13年にわたり民謡番組を担当した塩田氏は、民謡は物流、人の交流により全国に広がり、その土地の風土、人間性により育み今の民謡があるという興味深い話をされました。また、大きな声を出すことにより、自信につながり、健康にもつながることなど、ことばの大切さ、声を出す大切さを訴えていました。



ことばにもちょっとした気遣いが必要と話す塩田氏

新着図書

新潮社から学習資料館へ寄贈されました
ありがとうございます

- ◆大リーグが危ない（佐山和夫）
- ◆流れ星が消えないうちに（橋本紡）
- ◆忘れないと誓ったぼくがいた（平山瑞穂）
- ◆少女@ロボット（宮崎誉子）
- ◆「本」に恋して（松田哲夫）
- ◆マリッジ・セックス（亀山早苗）
- ◆名女形・雀右衛門（渡辺保）
- ◆ウルトラ・ダラー（手嶋龍一）
- ◆vanity（清水博子）
- ◆「週刊新潮」が報じたスキャンダル戦後史（新潮社編）
- ◆バカでもわかる思想入門（福田和也）
- ◆スープで、いきます（遠山正道）
- ◆名もなき孤児たちの墓（中原昌也）
- ◆スローフードな日本！（島村菜津）
- ◆自選自註 石川九楊作品集（石川九楊）
- ◆辻邦生全集 20巻（辻邦生）
- ◆阿川弘之全集 7巻（阿川弘之）
- ◆CD古事記（朗読＝中村吉右衛門・談話解説＝河合隼雄）
- ◆キャノンとカネボウ（横田好太郎）
- ◆サザエさんと株価の関係（吉野貴晶）
- ◆昭和の墓碑銘（週刊新潮編）
- ◆大江戸曲者列伝 幕末の巻（野口武彦）

- ◆東京タワー（江國香織）
- ◆噂（萩原浩）
- ◆九月の四分の一（大崎善生）
- ◆七つの黒い夢（乙一、恩田陸、北村薫 ほか）
- ◆落語的笑いのすすめ（桂文珍）
- ◆ひみつのとき（神崎京介）
- ◆恋愛脳（黒川伊保子）
- ◆人形を捨てる（藤堂志津子）
- ◆春になったら苺を摘みに（梨木香歩）
- ◆さくら伝説〈上・下〉（なかにし礼）
- ◆国銅〈上・下〉（帚木蓬生）
- ◆女〈ファム〉（藤田宜永）
- ◆おせっかい（松尾由美）
- ◆ダーク・タワーⅣ 魔道師と水晶球〈上・中・下〉
(スティーヴン・キング)
- ◆小鳥たち（アナイス・ニン）
- ◆知りすぎた女（フリーマントル）
- ◆コンシェルジュ 5巻（いしぜきひでゆき）
- ◆ゴッドサイダー 7巻（巻来 功士）
- ◆桜坂満太郎 13巻（吉田健二）
- ◆レストアガレージ251 18巻（次原隆二）

田沢湖図書館だより

今月のおすすめ

「グラスホッパー物語」

バッタのおじいさんが小さな孫たちに、若いころの冒険を語りはじめます。「みんなのうた」で放送されたお話を絵本にしたものです。「できるかな」のノッポさんの元気な姿が楽しめます。

（高見のつば著 世界文化社）



「ユーモアで行こう！」

おしゃれな一言や、気持ちのよいオチは人生を楽しくします。そんなユーモアの極意を、おなじみの著者が語ります。世の中を明るくする1冊です。

（萩本欽一著 ロングセラーズ）

新着図書紹介

- ◆やきもの鑑定五十年（中島誠之助）
- ◆屋台カフェのつくりかた（原田園子）
- ◆かもめ食堂（群ようこ）
- ◆新参教師（熊谷達也）
- ◆時を奏でる盆栽（加藤文子）
- ◆漢方なからだ（宮原桂）
- ◆血圧を自分で改善（島田和幸）
- ◆投資信託（中村芳子）
- ◆平泉への道（工藤雅樹）
- ◆死の雑学（上野正彦）

4月の休館日

3日（月） 10日（月） 17日（月）
24日（月） 29日（みどりの日）

春からあなたも大学生？ ～大学通信教育のススメ～

大学や大学院の通信教育課程は正規の教育課程ですから、卒業すれば学士や博士の学位を取得することができます。また、図書館の司書等の資格をとることができる大学もあります。田沢湖図書館では東日本の主な大学の募集要項を準備しています。そして希望者には無料でさしあげます。あなたも挑戦してみませんか？

親子そば打ち教室開催



3月19日、西木公民館では親子がふれあいながら、郷土の素材を利用したそば打ち体験教室を桧木内地区館を会場に開催しました。

西木そば研究会の鈴木久巳男さんを講師に、おじいちゃんやお母さん、友達といっしょににぎやかに、こねて、伸ばして、切って、どの組も上手に出来上がりました。打ち上がったそばは、おみやげに持ち帰りました。

お味はいかが？

3月16日、西木温泉クリオンを会場に「男の料理教室」が開催されました。料理長から指導をいただき、「アジのたたき」と「鰯のつみれ鍋」を作りました。

魚をおろすのは初めての参加者が殆どでしたが、思っていたより上手に出来たようで、包丁を扱う参加者の表情は、真剣さの中に笑顔が入りまじり、照れながら身につけたエプロンも、いつの間にか馴染んでいました。

調理後の試食会では皆が、「明日はアジを買いに行こう」、「次は、どんな魚を捌こうかな？」と、料理の楽しみを感じてもらえたようでした。



生態系を守れ！

ストップ・ザ・ブラックバス



男さんの撮影したDVDを教材に、町内の動植物について学習し、午後から産卵床制作を行いました。

この産卵床は地域の人達の協力をへて4月下旬に大沼に設置し、6月下旬頃まで駆除活動を行う予定です。

なお、秋田県内ではブラックバスの再放流、移動は禁止されていますので、皆様のご協力をお願い致します。

在来の小魚やエビ類、水性昆虫を食べ、従来の生態系に大きな影響を与えているブラックバスを、卵や孵化間もないうちに駆除してしまおうと、「ブラックバス産卵床」の制作が3月19日に就業改善センターで行われました。

これは、生態系を守ろうと活動している市内の「トンギョの会」と「田沢湖生物研究会」の合同で開催したものです。

午前中は旧田沢湖町の自然調査員を努めていた生保内在住で、画家の三村治





国民年金の保険料額が改正されます

平成18年4月から平成19年3月までの国民年金保険料は、月280円引き上げられ、月額13,860円となります。

国民年金保険料は、平成29年度まで毎年度月額280円引き上げられ、最終的に月額16,900円となる予定です。これは、年金を支える力と給付のバランスをとるためのものです。

なお、基礎年金額の1/3（将来的には1/2）は国庫負担です。今後も保険料の改定が予定されていますが、国庫負担があることで、若者であっても平均では納付した額の1.7倍以上の年金が受け取れる計算となっています。

障害基礎年金と老齢厚生年金等を併せて受給できるようになります

障害をお持ちになりながら働いたことが評価される仕組みとして、平成18年度から、65歳以上の方は、障害基礎年金と老齢基礎年金、障害基礎年金と遺族厚生年金の組み合わせについて併せて受給（併給）することができるようになります。

なお、併給を申請される場合は、「選択申出書」を提出していただく必要がありますので、最寄りの社会保険事務所へお問い合わせください。

【併給することができる組み合わせ】

- ◆障害基礎年金と老齢厚生年金（又は退職共済年金）
- ◆障害基礎年金と遺族厚生年金（又は遺族共済年金）
- ◆旧国民年金法の障害年金と老齢厚生年金（又は退職共済年金）
- ◆旧国民年金法の障害年金と遺族厚生年金（遺族共済年金又は特例遺族年金）

《社会保険庁ホームページをご利用ください》

<http://www.sia.go.jp/>

社会保険庁ホームページでは、年金Q&Aのほか、年金見込額の試算ができる「年金に関するご相談」のコーナーを始め、健康保険などの医療保険制度に関する情報も満載です。



仙北市の医療費（1月診療分）

●国 保

世帯数	6,915戸
被保険者数	15,295人
総医療費	12,315万3千円
1人あたり医療費	8,052円
1世帯あたり医療費	17,810円

●老人保健

加入者	5,933人
総医療費	31,829万9千円
1人あたり医療費	53,649円

●福祉医療

受給者	3,275人
個人負担への助成額	1,546万9千円
1人あたり助成額	4,723円

※先月の広報の12月診療福祉医療費個人負担への助成金が誤っていました。正しくは1,831万3千円でした。訂正してお詫びいたします。

秋田内陸線 再生へのチャレンジ!

仙北市、北秋田市、上小阿仁村による3回連載(第2回)



前号では、「内陸線の現状」と「再生計画が目指すもの」についてお伝えしました。

今号は、「具体的にどのようにして内陸線を再生するのか」「私たちには何が求められているのか」についてご説明します。

再生計画の数値目標

	平成16年度実績	平成18年度目標	平成22年度目標
乗車人員	51万人	66万人	83万人
経常損失額(赤字額)	2億7千万円	2億3千万円	1億5千万円以下

再生計画により、1億2千万円以上の経営改善を目指します。

《数値目標の根拠》

内陸線を仮にバス運行とした場合の経常損失額は1億5千万円と試算されています。

県や沿線市村では、近年の厳しい財政事情等を踏まえると、内陸線を存続するにしても、経常損失額への負担はバス運行の場合と同等額以下に抑える計画が必要との認識で一致したことにより、これを平成22年度(再生計画最終年度)の目標値として設定しています。



再生計画の具体的施策

現状の収益を維持しつつ、再生計画の具体的施策の実施により収益の増加を図ります。

単位：千円

現 状 の 収 益		+	具 体 的 施 策 の 実 施	定 期 客（日常生活客）		定 期 外 客（行楽客等）	
				●市役所定期	2,853(452)	●輸送体制の見直し	8,906
				●高校生定期	20,163(1,430)	●駅の新設・移設	20,988(7,632)
		●通勤定期	3,907(1,047)	●商品券・セット券の販売	7,229(2,400)		
		●スクールバスからの乗換	9,371(3,699)	●公共交通機関の日の実施	3,816		
		●その他	462	●小・中・幼稚(保育)園利用	12,859(5,109)		
		小計	36,756	●各種団体の利用	14,324(5,730)		
		数値は平成22年度の目標額（カッコ内は仙北市の目標額）です。 各年度ごとに施策の浸透を図るとともに、新規施策も加えながら段階的に目標達成を目指します。		●企画列車の運行	14,084		
				●観光客の増加	5,832		
				●沿線地域スポーツ交流会の実施	147		
				●沿線地域乗車運動	4,789		
				●その他	793		
				小計	93,767		
		合 計		約 1 億 3 千万円の収益増加			

数値は平成22年度の目標額(カッコ内は仙北市の目標額)です。
各年度ごとに施策の浸透を図るとともに、新規施策も加えながら段階的に目標達成を目指します。

※すべての施策を平成18年度に実施するものではありません。また、推進状況によっては施策の見直しを行う場合もあります。

皆さまへのお願い

施策の実施にあたり、今後、皆さまには直接ご理解とご支援をお願いする機会もあると思います。

目標達成への道のりは非常に厳しいことが指摘されていますが、存続のためには、このハードルを乗り越えることが必要であり、**一人ひとりの熱意と支援行動がカギを握っている**といえます。

どうか、こうした現状をご認識いただくとともに、会社、行政とともに住民の皆さま一人ひとりが再生への主役となり挑戦者となって、地域の夢と願いを実現できるようご支援をよろしくお願い申し上げます。

～次号予告～沿線地域の観光スポットやイベント、
内陸線企画列車についてご紹介します。



内陸線の再生に向けたご提言をお待ちしております。お手紙、FAX、メールでも結構です。

お花見列車「さくら号」 4月中旬～ゴールデンウィーク
弘前さくらまつり⇄角館さくらまつりをJRとの
タイアップにより直通運転します。

詳しくは、右記秋田内陸縦貫鉄道株式会社へお問い合わせください。

●仙北市総務部企画政策課 TEL43-1112 FAX43-1300

メール kikaku@city.semboku.akita.jp

●秋田内陸縦貫鉄道(株) TEL0186-82-3231 <http://www.akita-nairiku.com/>

●北秋田市企画部総合政策課●上小阿仁村総務課

平成18年4月1日から**児童手当制度が拡充されます!**

拡充内容

支給対象年齢が、これまでの小学校3年生（9歳到達後最初の年度末）までから、小学校6年生（12歳到達後最初の年度末）までに拡充され、併せて、所得制限が引き上げられます。

認定請求の手続きが必要となります

新たに、児童手当を受けられる児童の保護者の皆さまについては、市区町村の窓口（公務員の方は勤務先）で、認定請求の手続きが必要となります。（郵送での申請も可）

なお、改正に伴う新規請求は、平成18年9月30日まで受け付けたものに限り、特例的に4月1日（または支給要件に該当した日）にさかのぼって支給されます。

◆ 平成18年度に小学校4年生の児童がいる保護者の皆さま ◆

（平成8年4月2日生まれ～平成9年4月1日生まれ）

- ・これまで、当該児童に係る児童手当を受給していた保護者の方は、特段の手続きをする必要はありません。
- ・上記に該当しない保護者の方で、次の受給資格がある場合は、認定請求の手続きが必要になります。

◆ 平成18年度に小学校5年生または6年生の児童がいる保護者の皆さま ◆

（平成6年4月2日生まれ～平成8年4月1日生まれ）

- ・これまで、児童手当を受給していない保護者の方は認定請求、児童手当を受給していた保護者の方は額改定認定請求の手続きが必要となります。

◆ これまで、所得制限により児童手当を受給していない保護者の皆さま ◆

- ・所得制限の引き上げ（右頁参照）により、新たに児童手当を受給できる場合がありますので、該当する保護者の方は、認定請求の手続きが必要となります。

【認定請求書に必要な添付書類】

- ・健康保険被保険者証等の写し
（申請者が厚生年金等加入者の場合）
- ・所得証明書
（仙北市にその年の1月1日に住所がなかった場合）
などになります。

詳しくは、右記の仙北市福祉事務所または各庁舎地域センター総合窓口課（公務員の方は勤務先）にお問い合わせください。

問合せ

仙北市福祉事務所 児童福祉係

TEL（43）2280

角館地域センター 総合窓口課

TEL（43）3309

田沢湖地域センター 総合窓口課

TEL（43）1147

児童手当制度の概要

〔平成18年4月1日～〕

■児童手当制度の目的■

児童手当制度は、児童を養育している方に手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会をになう児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的にしています。

■児童手当制度のしくみ■

1. 支給対象

児童手当は、12歳到達後の最初の3月31日までの間にある児童（小学校修了前の児童）を養育している方に支給されます。ただし、前年（1月から5月までの月分の手当については前々年度）の所得が一定額以上の場合には、児童手当は支給されません。

2. 支給手続き

児童手当は、児童を養育する家計の主たる生計維持者が申請し、住所地の市町村長（公務員の方は勤務先）の認定を受けることにより、申請した翌月から支給されることになります。（今回の制度改正に係る申請については、特例があります。左頁参照）

3. 支給月額

第1子 5,000円 / 第2子 5,000円 / 第3子以降 10,000円

4. 支払時期

児童手当は、原則として、毎年2月、6月、10月に、それぞれの前月分までが支給されます。

5. 所得制限限度額

所得制限限度額は、前年（1月から5月までの月分については前々年）の所得額で判定しますが、収入ベースで夫婦と児童2人の世帯の場合の目安は次のとおりです。

自営業の方	596.3万円未満	→	18年4月から	780万円未満
サラリーマンの方	780.0万円未満	→	18年4月から	860万円未満

所得には一定の控除があります。また、所得制限限度額は年によって変更されることがありますので、詳しくは仙北市福祉事務所へお問い合わせください。

具体的な所得限度額は次のとおりです。

扶養親族等の数	自営業者（国民年金加入者）	サラリーマン（厚生年金等加入者）
0人	460.0万円	532.0万円
1人	498.0万円	570.0万円
2人	536.0万円	608.0万円
3人	574.0万円	646.0万円
4人	612.0万円	684.0万円
5人	650.0万円	722.0万円

注1）所得税法に規定する老人控除対象配偶者または老人扶養親族がある者についての限度額（所得額ベース）は左記の額に当該老人控除対象配偶者または老人扶養親族1人につき6万円を加算した額。
注2）扶養親族等の数が6人以上の場合の限度額（所得額ベース）は、1人につき38万円（扶養親族等が老人対象配偶者または老人扶養親族であるときは44万円）を加算した額。

秋田県子ども会共済

子ども会共済とは、子ども会が安心して活動できるようにするとともに、子ども会の活動中におきた万一の“事故”で被害を受けた仲間に対して、みんなでお見舞いをするを目的としたものです。

■加入できる方：

- ・子ども会会員（ただし、小学校就学3年前までの幼児の場合は保護者も加入が必要）
- ・子ども会育成会会員・世話人・指導者

■掛け金：

大人、子ども1人あたり年額200円

■見舞金：

- ・死亡見舞金……60万円
- ・傷害見舞金……1万円～13万円

■申込方法：市役所各庁舎内にある申込書と加入者名簿に記入し、掛け金とあわせてお届けください。

■問合せ：秋田県子ども会育成連合会
TEL/FAX 018 (862) 6664

大仙保健所の巡回相談（サービスディ）の終了について

大仙保健所では用途廃止された旧大曲保健所角館支所において、保健・衛生に関する巡回相談（サービスディ）を実施してまいりましたが、市町村合併に伴い地元における相談機能が充実してきていることから、サービスディを平成18年3月末で終了いたします。

なお、この施設は仙北市に譲与され、健康・福祉相談等を実施する仙北市福祉センターとして新たに活用されることになっております。

■問合せ：

秋田県仙北地域振興局
福祉環境部（大仙保健所）
〒014-0062大仙市大曲上栄町13-62
TEL 0187 (63) 3403
FAX 0187 (62) 5288

『首、手、足』血管ドック

生活習慣病、とりわけ糖尿病は、多くの合併症を伴うことが知られています。そのひとつとして全身の動脈硬化が促進され、その結果、脳硬塞・心筋梗塞などの合併があげられます。

そこで、動脈硬化の早期発見の一助となるように、この度、4月20日より、通常の健診や脳ドックで、盲点になりがちな、首や手、足の動脈の検査を主とする『首、手、足』血管ドックを開始いたします。手・足の血圧測定、頰動脈超音波検査（可視範囲において）、酸素飽和度測定、眼底検査等を行います。料金は消費税込みで10,000円です。

合併症の早期発見、予防には是非ご活用ください。

■申込、問合せ：市立角館総合病院
地域保健室 TEL (54) 2111

水道料金振替日▶4月25日(月)

介護保険事務所からのお知らせ

平成18年度からの介護保険料基準額が決定しました!

介護保険制度では、介護保険事業計画を3年ごとに作成し、65歳以上の人（第1号被保険者）が負担する介護保険料を決めることになっています。

それにより、平成17年度に「第3期介護保険事業計画」を作成し、平成18年度からの新たな保険料基準額が決定されました。

保険料基準額は月額2,860円から月額3,990円になります。

保険料基準額（月額）

3,990円

（H15～17年度の基準額：2,860円）

【保険料上昇の主な要因】

（その1）高齢者人口の増加・介護保険施設や住宅サービスの充実などによる介護給付費の増加

平成15年度～平成17年度 約276億円 → 平成18年度～平成20年度 約329億円（見込み）

（その2）介護保険制度改正による65歳以上の人介護給付費の負担割合の増加

平成15年度～平成17年度 給付費の18% → 平成18年度～平成20年度 給付費の19%

【第1号被保険者の介護保険料】

段階	区分（平成18年度の住民税課税状況）	保険料（年額）	
第1段階	生活保護受給者か高齢福祉年金受給者で世帯全員が住民税非課税	23,940円	基準額×0.5
第2段階	住民税非課税世帯で本人の[合計所得金額+課税年金収入額]が80万円(年間)以下	23,940円	基準額×0.5
第3段階	住民税非課税世帯で本人の[合計所得金額+課税年金収入額]が80万円(年間)を超える	35,910円	基準額×0.75
第4段階	本人が住民税非課税（世帯内に課税者がいる）	47,880円	（基準額）
第5段階	本人が住民税課税で合計所得金額が200万円未満	59,850円	基準額×1.25
第6段階	本人が住民税課税で合計所得金額が200万円以上	71,820円	基準額×1.5

※税制改正の影響で住民税が課税となり保険料段階が上昇した場合には負担を段階的に引き上げる激変緩和措置がとられます。

※介護保険制度は、介護を社会全体で支える制度であり、介護保険料はこの制度を支える重要な財源です。被保険者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

〒014-0805 大仙市高梨字田茂木10番地（大仙市役所 仙北庁舎内）
介護保険事務所 保険管理班 TEL 0187-86-3911

9月を目標に「仙北市総合計画」を策定します

仙北市は、平成17年9月20日に誕生しましたが、町村合併という基本的な自治体としての枠組みの変化に加え、少子高齢化の急速な進展、社会経済システムの変化など、かつてない変革の時代を迎えています。

こうした中で、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図るためには、明確な将来ビジョンを示す必要があります。本年9月までに「仙北市総合計画」を策定することにしました。

総合計画は、合併協議により策定された「新市建設計画」の基本理念を継承しつつ、より発展的、具体的なまちづくりの指針となるものです。

◇計画の構成

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」及び「実施計画」により構成されます。

〔基本構想〕

基本構想は、まちづくりの基本理念と、これにより実現を目指す仙北市の将来像を定め、市政運営の基本方針を示すものです。

〔基本計画〕

基本計画は、基本構想に掲げる将来像の実現に向けて、各分野で取り組むべき施策の基本方向と施策の体系を明らかにするものです。

〔実施計画〕

実施計画は、基本計画で示した施策の方向に従って、具体的な事業の内容を明らかにするものです。

◇計画の期間

基本構想及び基本計画の計画期間は、平成18年度（2006年度）を初年度として平成27年度（2015年度）までの10年間とします。また、実施計画は3年間の計画とし、ローリング方式により毎年度見直しするものとします。

◇計画策定スケジュール

平成18年9月を目途に策定するものとします。

策定にあたっては、住民アンケートの実施、市議会との協議、地域審議会からの意見聴取及び各種団体等へのヒアリングの実施により広く市民の声を反映したものとします。

◇住民アンケートにご協力を◇

総合計画の策定にあたって、住民アンケートを予定しています。

アンケートは無作為に抽出した仙北市に住所を有する18歳以上の方、2,000人を対象に実施します。該当された方には、今月中にアンケート用紙が郵送されますので、ご協力をお願いします。

また、アンケートとは別に、広く市民の皆さんのご意見、ご提言を募集します。様式は自由ですので、住所、氏名及び総合計画についての意見、提言であることを明記のうえ、メールかFAXまたは郵送で企画政策課へお願いします。

（※意見、提言の募集は、5月15日を締切期限とします。）

■問合せ、提出先：

〒014-1298

仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30

仙北市役所総務部企画政策課

TEL (43) 1112 / FAX (43) 1300

Email : kikaku@city.semboku.akita.jp

出生 おめでとうございます

氏名	保護者	住所
千 葉 銀 河	和幸	生保内字中村
松 田 蓮 八	護峰	生保内字武蔵野
富 岡 啓 介	満	生保内字武蔵野
田 中 桃 香	祐司	田沢字大山
遠 藤 卓 悠	昭人	卒田字北竹原
田 口 悠 朗	裕文	上菅沢
鎌 田 宇 朗	和彦	上菅沢
阿 部 玲 士	弘道	水ノ目沢
戸 澤 明 寿	裕一	岩瀬
寺 西 匠 望	学	歩行町
山 口 紗 季	卓	田町上丁
佐 藤 璃 音	健	小勝田下川原
難 波 春 翔	幸生	小勝田西ノ沢
武 藤 楓 一	弘	西長野桂渕
鈴 木 翠 燈	康平	下延大前田
斎 藤 心 胡	雄馬	上桧木内字大地田
浅 利 菜 羽	一興	桧木内字久保
千 葉 洸 芽	和春	門屋字道目木

死亡 おくやみ申し上げます

氏名	年齢	住所
千 葉 一 彦	42	生保内字造道
佐 川 直 治	91	生保内字牛沢
難 波 せ い	65	生保内字武蔵野
村 上 隆 介	75	生保内字武蔵野
伊 藤 宮 吉	94	生保内字源左エ門野
石 塚 一 夫	68	生保内字水尻
石 塚 ツ ル	93	生保内字水尻
高 階 良 正	55	生保内字野中
三 浦 キクエ	89	生保内字沼田
草 薨 ハ ヤ	84	生保内字野村
佐 藤 正 樹	20	刺巻字六枚
高 堰 欽 児	86	田沢字先達
羽根川 ミツエ	90	田沢字供養佛
仙 葉 昭 治	68	小松字本町
高 橋 虎 雄	77	角館東前郷字六丁野
伊 藤 マツエ	93	角館東前郷字赤平
高 橋 謙 藏	82	神代字生田中村
細 川 祐 治	83	神代字珍重屋敷
大 山 武 朗	83	梅沢字森腰
藤 原 邦 雄	63	梅沢字大船
門 脇 ミ エ	87	卒田字白簾
小 林 慶 吉	77	卒田字早稲田
千 葉 勝 江	79	小館
佐 藤 文 子	83	山根町
戸 澤 ク ニ	85	川原太田
小 玉 千代子	81	川原中道
鈴 木 涼 太	20	西長野野見堂
小 松 恭 悦	76	雲然田中
山 形 キミエ	80	下延竹市
藤 木 吉 雄	72	藪田中村
藤 島 主 税	22	上桧木内字東上戸沢
浅 利 博 美	42	桧木内字霞田
浅 利 三智治	85	桧木内字高屋
高 橋 隆 盛	90	小淵野字山崎
佐 藤 昇一郎	78	小淵野字赤ハケ
青 山 ツ ル	92	小淵野字日月田

善 意

一般寄付

- ・小松慎子さん（裏町）
- ・高村富美夫さん（広久内上中川原）
- ・カネダイ薬局
- ・角館町芸能ボランティア連絡協議会 山室紀子さん
- ・角館中学校生徒会

香典返寄付

- ・布谷毅一郎さん（桧木内字中里）
- ・佐藤暁さん（小淵野字前田野）
- ・浅利源城さん（桧木内字霞田）
- ・鈴木伸二さん（生保内字街道ノ上）
- ・田中廣徳さん（生保内字源左エ門野）
- ・伊勢正さん（生保内字沼田）
- ・村上優子さん（生保内字武蔵野）
- ・清水洋輔さん（岡崎字大屋敷）
- ・三浦善一郎さん（生保内字沼田）
- ・柴田圭一さん（生保内字浮世坂）
- ・大山哲夫さん（梅沢字森腰）
- ・佐川昭悦さん（生保内字牛沢）

清眺苑へ善意・奉仕・慰問

- ・卒田もみじ会
- ・鈴木敏子さん（生保内字武蔵野）
- ・理髮奉仕グループ 代表 藤田二美子さん
- ・田口アイさん（生保内字久保）
- ・JAつくし会
- ・石塚春子さん（生保内字水尻）

【出生・死亡 2月届出分 敬称略】

お詫びと訂正

先月号の出生欄に掲載しました高橋奈美ちゃんは、高橋奈未ちゃんの誤りでした。訂正してお詫びいたします。

仙北市ミニ統計

2月

■人 口	男 15,301人
	女 17,200人
	計 32,501人
■世帯数	10,842世帯
■出 生	18人
■死 亡	37人
■結 婚	8組
■転 入	24人
■転 出	43人
■火 災	1件
■交通事故（うち死傷者）	13件（13人）
■飲酒運転違反者	3人

■ゴミ処理量（うち資源ゴミ）	850.8t（52.1t）
■建築確認件数	9件
■農地転用件数	2件

家畜市場（仙北市）

平成18年3月の子牛市場

	雌	去勢
販 売 頭 数	10頭	21頭
平 均 体 重	266kg	306kg
平 均 価 格	448,560円	544,150円
kg 単 価	1,688円	1,781円

木材市況

平成18年3月10日市場

	1㎡平均	1石平均
小 丸 太	—	—
中 丸 太	10,500円	2,916円
大 丸 太	10,100円	2,805円

今月の売上数値
27,950m³（100,620石）
今月の売上金額 259,000円

1 土	
2 日	
3 月	○母子手帳交付(田) ○子ども開放日(角)
4 火	
5 水	
6 木	○1歳6ヶ月児・3歳児健診(神) (対象:H16.7.13~10.31・H14.7.14~9.30生) ○メンテナンス休館日(花葉館)
7 金	○1歳6ヶ月児・3歳児健診(田) (対象:H16.8.5~10.31・H14.7.22~9.30生)
8 土	
9 日	
10 月	○母子手帳交付(角)
11 火	○乳児相談(田) (対象:H17.4.1~5.31・H17.8.1~9.30生)
12 水	
13 木	○乳児健診(田) (対象:H17.5.12~7.31・H17.11.12~12.31生)
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	○母子手帳交付(西) ○子ども開放日(角)
18 火	○2歳6ヶ月児歯科健診(対象:H15.8.1~9.30生)(西)
19 水	○予防接種(三種混合・BCG)(田)
20 木	○乳児健診(西) (対象:H17.6.1~7.31・H17.11.1~12.31生)
21 金	○イタリア料理フェア(花葉館)
22 土	
23 日	
24 月	○母子手帳交付(角) ○予防接種(三種混合・BCG)(西)
25 火	○予防接種(三種混合・BCG)(神)
26 水	○予防接種(三種混合・BCG)(角)
27 木	○2歳6ヶ月児歯科健診(対象:H15.8.1~9.30生)(田)
28 金	○乳児健診(角) (対象:H17.7.1~7.31・H17.12.1~12.30生)
29 土	
30 日	○小桜舞子ショー(花葉館)

【実施場所】

(田)…仙北市健康増進センター (角)…仙北市健康管理センター
(西)…西木保健センター (神)…仙北市就業改善センター
(松)…松木内地区公民館 (紙)…紙風船館 (西地)…西木地域センター

病院検診のご案内

子宮がん・卵巣腫瘍・乳がん・肺がん検診を病院で受けた人は、検診場所、申込は「市立角館総合病院」です。

田沢湖地区、西木地区、角館地区のどなたでも検診を受けることができます。ただし、各地区で行う集団検診と両方を受けることはできませんので、ご注意ください。

子宮がん・卵巣腫瘍・乳がん・肺がん検診について

【対象年齢】

◇子宮がん・卵巣腫瘍…20～39歳までの女性(毎年検診)
40歳以上で、平成18年度中に偶数年齢になる女性(2年に1回の検診)

◇乳がん…40歳以上で、平成18年度中に偶数年齢になる女性(2年に1回の検診)

※40歳以上の検診対象者は、平成18年4月2日～平成19年4月1日に偶数年齢になる方です。(例 40歳、42歳、44歳……)

【日程】

5月8日～7月・9月～11月 月曜・木曜(週2日)

※1日10人程度

※子宮がん・乳がん検診は、生理終了直後をおすすめします。

【当日検診受付】

12:00～12:30

【検診料金】

子宮がん・卵巣腫瘍検診 1,300円

乳がん検診 700円

(国保加入者、70歳以上、生保の方は無料)



肺がん検診について

マルチスライスCTによる検診です。これは市立角館総合病院が全県に先駆けて導入したもので、肺がん検診の方法としては、最も優れている検診です。1人約20秒以内で検診ができます。

【対象年齢】 40歳以上

【日程及び検診時間】

5月9日～7月28日 ※1日10～15人程度

火曜・金曜 受付 15:00～16:00

検査 15:00～17:00

月曜・木曜 受付 18:00～18:30

(6月のみ) 検査 18:00～19:00

【検診料金】

2,000円(国保加入者、70歳以上、生保の方は無料)

◆ 申込方法 ◆

検診は、「市立角館総合病院」に直接お申し込みください。「健診対象者調べ」に記入しただけでは申込になりませんのでご注意ください。

《予約受付開始》

子宮がん・卵巣腫瘍健診、乳がん検診 4月3日～11月

肺がん検診 4月3日～7月

《予約受付時間》 9:00～15:00

《予約、申込》 市立角館総合病院 総務企画課

TEL(54)2111

※電話でお申し込みの際は、最初に「仙北市の健診です」と話し、検診名・氏名・生年月日・住所・電話番号・保険種別を伝えてください。

外来では受け付けておりませんので、ご注意ください。

各施設オープンについてのお知らせ

早春と言っても、残雪も多くまだまだ肌寒い日が続いています。しかし、雪が消える頃には、この地域に春の訪れを告げるミズバショウ、カタクリ、サクラが次々と咲き、多くの観光客で賑わうことでしょう！

さて、冬季閉鎖していた施設並びに新規に物産館がオープンしますのでお知らせします。

【新規施設のご案内】



田沢湖市

【お問い合わせ先 TEL 43-3566・43-3511】

期 間：4月下旬オープン予定

営業時間：8:00～19:00

場 所：JR田沢湖駅前

※地酒・はちみつ等及び朝採り野菜・米等の地場産品や民芸品

※惣菜や手作りお菓子等

※郷土料理等の飲食コーナー

【冬季閉鎖していた施設・市のオープンのご案内】

立町ポケットパークの市

【お問い合わせ先 (根っこの会) 55-2262 (藤枝) 53-2115 (門脇)】

期 間：4月16日～5月7日・6月21日頃～11月まで

営業時間：4月16日～5月7日 桜まつりの市 9:00～14:00

6月21日頃～11月 土日の地産地消市 9:00～14:00

水曜朝市 9:00～11:00

場 所：角館郵便局前

※餅菓子、花巻寿司、赤飯、漬け物、朝採り野菜、花苗、切り花等



むらっこ物産館

【お問い合わせ先 TEL 47-2205】

期 間：4月8日～11月23日 (7月1日休み)

営業時間：9:00～17:00

場 所：かたまえ山森林公園向かい (たつこ像より約1km)

※田沢湖市と同じく地場産品の販売と飲食コーナーあり

※毎月第3日曜日は『旬の味覚祭り』開催

田沢湖ハーブガーデン「ハートハーブ」

【お問い合わせ先 TEL 43-2424】

期 間：4月8日～11月19日

営業時間：9:00～17:00

場 所：田沢湖畔 (春山地区)

※ハーブの観賞、レストラン、体験コーナー等

※ハーブバスは4月中にオープン予定

